

2022年度ジュニア育成地域推進事業 ジュニア大会要綱

目的

東京都におけるジュニアスポーツの普及と地域のジュニア選手の発掘・強化を目的とし、指導者の養成研修や地域スポーツネットワーク構築を目指した事業です。

- 1, 主催：東京都、(公財)東京都体育協会、(一財)稲城市体育協会
- 2, 主管：稲城市サッカー連盟
- 3, 開催日：2022年6月12日～2022年7月24日
- 4, 開場：稲城市南多摩スポーツ広場多目的グラウンド他稲城市内のグラウンド
- 5, 参加資格
2022年度稲城市サッカー連盟加盟の3年生以下のチーム
- 6, 参加費 参加費は徴収しない
- 7, 競技会規則
特に記載しない限り、日本サッカー協会2022/23年度『サッカー競技規則』および、『JFA 8人制サッカー競技規則』に準ずる。
警告の累積は当日のみで2枚で退場とする。退場者は次の試合1試合のみを出場停止とする。
- 8, 試合時間 各カテゴリー別に時間を設定して大会を開催する
幼児： 8分ハーフ (インターバル3分)
1年生：10分ハーフ (インターバル3分)
2年生：12分ハーフ (インターバル5分)
3年生：15分ハーフ (インターバル5分)
- 9, 試合
 - (1) 1年以下に関しては基本6人制とするが、当日5人しか参加出来ないチームが出た場合は全ての試合を5人制で行う。但し4人制では行わない。また、当日すべてのチームが同意した場合、7人制や8人制で行うことも可能とする。
 - (2) 2・3年大会は常に8人制で行う。
 - (3) 試合開始時に1年生以下は5人、2・3年は7人が出場している状態であること。試合中に1年以下は4人以下、2・3年は6人以下になったら試合不成立とし、人数が足りないチームの不戦敗(リーグ戦では0：3か、その時点での得点差の多い方を採用)とする。
 - (4) 別紙、各学年ごとの組合せ表に基づき、リーグ or トーナメントにより優勝以下を決定する。
 - (5) リーグ戦の順位については、以下にて決定する。
勝ち点の扱い 勝：3、 引分：1、 負：0 不戦敗：-1
順位の優先順位：①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トストーナメントにおいて同点の場合は3名ずつのPK戦により決定する。以降サドンデス。

1 0、グラウンドのサイズ

別途定める「グラウンドサイズ」による。(総合Gで開催の際のライン引きは大会運営チームが体育館および運営会社に依頼する)

1 1、会場運営

(1)会場運営のチームは各学年ごとの組み合わせ表に記載のチームが担当する。

(2)各チーム選手・父兄の集合については第一試合開始1時間前(総合Gは8:45)以降とする。

当日試合のあるチームの指導者については第一試合開始1時間半前(総合Gは8:30)に集合し、全チームの協力によりグラウンドの準備を行う。

ただし、午前・午後で試合が分かれている場合は午前に試合のあるチームが準備を行い、午後試合のチームは最後まで残り後片づけを行う。

(3)会場運営チームの役割

運営担当は各日2チームで運営に当たるので、チーム間で相談して役割分担可能。

但し、割当て時間をAM・PMなどに分担した場合は、それぞれ2名ずつ配置する。

① 当日の試合進行表をA3に拡大し掲示する。

② 審判・本部要員用に飲料水を用意する。(紙コップ、ゴミ袋、ガムテープ)

③ WBGT計(高気温時)、空気入れ、空気圧計、筆記具、カバーGではメジャー2本

④ 試合進行表に試合結果・審判チームを記載し、大会担当と少年部に報告する。

⑤ 試合終了後、全チームの退出後グラウンド状況を確認し、施錠を依頼する。

⑥ 南多摩Gの石灰の残数が3袋以下の場合は少年部に連絡する。

1 2、出場チームの構成

複数チームエントリーは当該学年が16名以上いる場合は2チーム、24名以上いる場合は3チームエントリー可能(1年以下は12名以上・18名以上)を登録条件とする。

団体内の構成として、複数チームエントリーする場合のシード順はA⇒B⇒Cと表現し、Aチームは当該学年のみで構成する。Bチーム以下は当該学年のみで編成する必要はない。但し、大会本部よりチーム数調整の為、複数エントリーを依頼された場合は除く。

上記登録条件について、幼児は全て同学年(年中,年長別の大会は無し)という扱いにする。

1 3、ベンチ入り

選手の人数制限は設けない。スタッフは2名以上5名以内とする。応援の保護者とは明確に分離(試合会場と管理区域)する。

1 4、交代 FPは「自由な交代」GKはアウトオブプレー時に正規手続きでの交代とする。

(退場するGKが一番近いタッチラインかゴールラインより退場、入場は交代ゾーンから)

1 5、ボール

ボールは4号縫いボールとし、幼児・1年生・2年生は「0.6kg/cm²」とし、3年生は「0.8kg/cm²」に調整したものを当該チームが持ち寄る。(検定球に限る)

1 6、ユニフォーム(ビブスは原則不可だが、園児・1年の複数エントリーでは容認する)

F・P・GKともに正副(原則としてシャツ・ショーツ・ソックスとも)を用意し、それぞれが容

易に識別できるものであること。色については黒のパンツ・ソックスを認める。

アンダーシャツ・アンダーショーツ（タイツ）の色は問わないが、チーム内では同色の物を着用する。GKはFPとは異色が良いが、控えGKと統一する。

ソックスを止めるためのテープ等の色はソックスと同じ色でなくても良い。またチーム内での統一も不要。

FPとしても出場するGKのショーツとソックスは、試合開始時からFPと同じでも良いが、必ずGKからFPに代わることを条件とする。「状況によっては交代するかも知れない」など、その場の戦略での交代は対象外なのでGKは正規のユニフォーム上下で出場すること。

17、審判

審判員育成の為、資格取得予定者の審判も認めるが正規な審判服の着用は必須とし、試合の都度、サッカー連盟審判部員の助言を参考とし審判技術を高める事を目的とする。

主審と補助審判の2人制審判で行い、主・補はハーフタイムで交代しても良い。

3年生大会では審判報告書を記載し、審判部員の確認（場合によっては指導）を受ける。

18、新型コロナウイルス感染症対策について

別紙『ジュニア大会開催に関わる新型コロナウイルス感染症対策について』を遵守する。

検温係に指名された場合は、非接触式検温器を持参して所定の場所で検温する。

19、その他

疑義が生じた場合は本部に提起し、出場チーム間で確認を行う。

幼児の部及び1年生の部の特別ルール

1. スローインは、1度目は指導して再度行わせる。
2. オフサイド・バックパスは取らない。（ただし、待ち伏せは認めない）
3. フリーキック時、相手選手は5m以上離れる。

以上

2022年度 稲城市サッカー連盟少年部